年間指導・評価計画　　教科（国語）３年

知：知識・技能　思：思考・判断・表現　主：主体的に学習に取り組む態度

学期・月(時数)		単元	学習内容	おもな評価規準	対象観点 知	対象観点 思	対象観点 主	評価材料
一学期	4月(7) 5月(9) 6月(10) 7月(11)	読むこと	握手	・「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。 ・文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。	○	○	○	期末考査 学習確認テスト 小テスト ノート ワークシート ワーク 書写 発言 話し合いの様子 朗読 暗唱 創作物 宿題・提出物 授業時観察 （態度・忘れ物）
			学びて時に之を習ふ―「論語」から	・人間の生き方に関する孔子の考え方を、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。				
			「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森	・登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評などにまとめている。				
			作られた「物語」を超えて	・論説の特性を踏まえ、「具体と抽象」の関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。 ・ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、「具体と抽象」の関係を理解している。				
			言葉の釣り糸を垂らす	・筆者の「書く」ことに対する考えについて、自分の記憶や経験を踏まえながら考えている。 ・文章中の語句・表現から、印象に残ったものや、よいと思ったものを挙げ、その理由や効果について考えている。				
			実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	・実用的な文章の特徴を踏まえ、目的に応じて情報を読み取っている。 ・事実や事例の選び方、取り上げ方や、語句・写真の選び方、レイアウトなどに着目して批判的に記事を読み、書き手の意図について考えている。 ・観点ごとに情報を整理し、情報の客観性や信頼性を確認している。				
		話すこと聞くこと	意見を聞き、適切さを判断する敬語	・根拠としている情報について、事実関係や裏づけなどに注意して聞いている。 ・多様な考えをもつ聞き手の存在を想定しながら、意見と根拠、理由づけの適切さを判断し、改善策を検討している。				
			説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	・情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。 ・興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。 ・聞き手の興味を引く問いかけや強調表現を取り入れたり、聞き手の反応に応じて話の内容を補足したりするなど、工夫して話している。				
		書くこと	論理の展開を意識して書こう	・課題に沿って資料を読み解き、読み取った事実と、自分の解釈や考えを整理して書き出している。 ・説得力のある文章にするために、論理の展開や意見と根拠、その結び付きを考えながら、文章の構成を工夫している。				
			俳句の可能性	・自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。				

		(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項る事項	世界はうつくしいと	・詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。				
			文法への扉１　「走って」いるのは誰？	・既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際の判断基準になることを理解している。				
			相手や場に応じた言葉遣い	・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、実際の使用場面を想定しながら、適切な使い方を考えている。				
			思考のレッスン 具体化・抽象化	具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、具体と抽象の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。				
			漢字１熟語の読み方	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。				
			言葉２　和語・漢語・外来語	・和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。 ・古典や近代文学、年配の人との会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つけている。				
		書写	硬筆	・目的や必要に応じて楷書または行書を選んで書いている。				
二学期	9月 (10) 10月 (12) 11月 (10) 12月 (12)	読むこと	挨拶 ―原爆の写真によせて	・詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について、自分の考えをまとめている。 ・現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対する自分の考えをまとめている。	○	○	○	中間考査 期末考査 小テスト ノート ワークシート ワーク 書写 発言 話し合いの様子 朗読 創作物 宿題・提出物 授業時観察 （態度・忘れ物）
			故郷	・文章を批判的に読み、観点を明確にして、作品のもつ特性や価値を批評している。 ・「私」が考える「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。				
			複数の意見を読んで、考えよう ――正解が一つに決まらない課題と向き合う	・観点を決めて文章を比較したり、自分の知識や経験と照合したりしながら批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について考えている。 ・提言の内容、論理の展開、表現のしかたなどについて、自分の知識や経験と結び付けたり、討論したりして、評価している。				
			君待つと ――万葉・古今・新古今	・三つの歌集に収められた和歌を比較し、特徴的な表現やその効果について、評価している。				
			夏草 ――「おくのほそ道」から	・現代の価値観と比較したり、作者が感動した歴史的背景を確かめたりして、作者のものの見方や感じ方について考えている。				

			それでも、言葉を	・文章を多角的に検討したり、例証や反証を試みたりして、筆者の考えについて理解を深めている。 ・文章を批判的に読んだり話し合ったりすることを通して、言葉に対する自分の意見を確立している。				
		話すこと 聞くこと	［話し合い（進行）］ 話し合いを効果的に進めよう	・合意形成に向けた話し合いを効果的に進行するための工夫について考えている。 ・抽象化の技能を生かし、複数の発言の共通点を抽出し、結び付けてまとめている。				
			合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	・合意形成に向けて納得できる結論を出すために、提案の意義や実現性を検討したり、互いの発言を生かしたりして話し合っている。				
		書くこと	［推敲］論理の展開を整える	・目的や意図に応じた表現になっているかを確かめて、文章を推敲している。 ・論理の展開について、読み手からの助言を踏まえて自分の文章のよい点や改善点を確かめ、必要に応じて整えている。				
			考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	・文体や表現技法などを検討したり、自分の意見を支える根拠となる資料を引用したりして、文章表現を工夫している。 ・読み手からの助言を踏まえて、自分の批評文における批評の観点や表現、論理の展開などのよい点や改善点を見いだしている。				
			つながる古典 古典名作選	・自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。				
		⑴言葉の特徴や使い方に関する事項 ⑵情報の扱い方に関する事項 ⑶我が国の言語文化に関する事項る事項	慣用句・ことわざ・故事成語	・慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語の意味や使い方を調べたりしている。				
			漢字の造語力	・漢字の造語力を意識しながら、漢字の意味を理解し、読んだり書いたりしている。				
			漢字に親しもう３ 文法への扉２ 「ない」の違いがわからない？	・語句や表現に着目したり、言葉の響きやリズムを味わったりしながら詩に描かれた情景や心情を想像している。 ・				
			聴きひたる　初恋	・助動詞などのはたらきについて理解している。				
			和歌の世界　古今和歌集　仮名序	・「和歌の世界」と「古今和歌集　仮名序」を読み、三つの歌集の特徴や歴史的背景、和歌に対する古人の思いを捉えている。				
			漢字のまとめ 漢字に親しもう４	・漢字の組み立てと部首、音訓、成り立ち、熟語の構成、同じ訓・同じ音をもつ漢字、送り仮名、熟語の読み方、漢字の造語力など、３年間で学習した漢字の内容を理解している。				
		書写	硬筆・毛筆	・身の回りの多様な文字に興味を持ち、効果的に文字を書くことができている。 ・正しい姿勢で筆遣いに気を付けて書写できている。				

三学期	1月 (12) 2月 (8) 3月 (4)	読むこと	温かいスープ	・自分の考え方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何かについて、自分の考えをまとめている。	○	○	○	学年末考査 小テスト ノート ワークシート ワーク 書写 発言 話し合いの様子 朗読 創作物 宿題・提出物 授業時観察 （態度・忘れ物）
			アラスカとの出会い	・文章から読み取った筆者のものの見方・考え方や、友達との交流を受けて、自分の生き方について考えをまとめている。				
			律儀な桜	・自分の知識や経験と結び付けながら文章を読み、人と自然に対する自分の考えをもっている。				
			わたしを束ねないで	・詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会と人間、自分の可能性について考えている。				
		話すこと 聞くこと	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	・自分が伝えたいことが効果的に伝わるように、場に応じて工夫しながら話している。 ・記事の内容を効果的に伝えるために、紙面と文章の構成を工夫している。				
		書くこと	自己 PR 文を書く	・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、文章をより良いものにしている。				
			卒業文集を書く	・目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集することができている。				
		我が国の言語文化に関する事項る事項	百人一首	・声に出して読み、狂言の世界や百人一首に親しむことができている。				

【合計時間数　１４０】＊漢字・語句の学習は随時取り入れます。生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合があります。